

研究機関：広島大学

研究課題名	膵癌における腹腔洗浄細胞診陽性の危険因子の検索
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科外科学 教授 高橋 信也
研究期間	2022年 2月 4日(倫理委員会承認後) ~2022年 12月 31日
対象者	2002年5月から2021年3月の間に、広島大学病院広島大学病院消化器外科で膵癌に対する手術を受けられた患者さんの内、手術時に腹腔洗浄細胞診を行った患者さんを対象としています。
意義・目的	腹腔洗浄細胞診陽性の膵癌は予後が悪いことが知られていますが、細胞診陽性の危険因子は未だよくわかっていません。今回、腹腔洗浄細胞診陽性の危険因子を検索する目的で、この研究を計
<p>本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。</p> <p>カルテから使用する内容は年齢、身長、体重、性別、術前・術後の血液検査値、腫瘍因子（組織型、進行度など）、手術所見（手術時間、術式など）、術前・術後化学療法の有無、予後（無再発生存期間、再発形式など）です。</p> <p>（個人を特定可能な情報は解析に用いません）</p>	
共同研究機関	該当なし
試料・情報の管理責任者	広島大学 准教授 上村健一郎
個人情報の保護について	
〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5216 広島大学病院消化器外科 准教授 上村健一郎	